

お知らせ

INFORMATION



No.2014-35

2014年12月

病体生理研究所

「微生物検査」の報告内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用頂きまして誠に有り難うございます。

この度、微生物検査の腸内細菌科の内因性耐性を示す菌の薬剤感受性検査における報告の統一と血液培養検査陽性時の塗抹鏡検結果の報告について、以下の内容で実施させていただきます。併せて、「感染対策情報レポート（週報）陽性者一覧」の菌名称の変更を実施させていただきます。

何卒、ご理解頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【微生物検査の報告内容の変更について】

- ◆ 腸内細菌科の『内因性耐性』薬剤感受性結果の報告変更
- ◆ 血液培養検査での培養陽性時の塗抹結果の報告開始
- ◆ 感染対策情報レポート（週報）陽性者一覧の菌名称の変更

《変更日》2015年1月5日（月）報告分より

◆ 腸内細菌科の『内因性耐性』薬剤感受性結果の報告変更について

変更内容	『CLSI M100-S23』(※1)に基づき下記【表】腸内細菌科の抗菌薬内因性耐性菌の結果報告を「R (耐性)」に変更させていただきます。
------	--

※ 1 : CLSI : Clinical and Laboratory Standards Institute(米国臨床検査標準協会)
M100-S23 : CLSI 細菌学関連文書の日本語版「抗菌薬剤感受性検査のための標準法 - 第23版」

【表】腸内細菌科の抗菌薬内因性耐性

菌名	薬剤											
<i>Citrobacter freundii</i>	ABPC	●	AMPC/CVA	○	CEZ	●	CCL	○	CMZ	●	CTM	○
<i>Citrobacter</i> sp	ABPC	●	PIPC	●								
<i>Enterobacter</i> sp	ABPC	●	AMPC/CVA	○	CEZ	●	CCL	○	CMZ	●	CTM	○
<i>Hafnia alvei</i>	ABPC	●	AMPC/CVA	○	CEZ	●	CCL	○	CMZ	●		
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	ABPC	●										
<i>Morganella morganii</i>	ABPC	●	AMPC/CVA	○	CEZ	●	CCL	○	CTM	○	MINO	●
<i>Proteus mirabilis</i>	MINO	●										
<i>Proteus</i> sp	ABPC	●	CEZ	●	CCL	○	CTM	○	MINO	●		
<i>Providencia rettgeri</i>	ABPC	●	AMPC/CVA	○	CEZ	●	CCL	○	MINO	●		
<i>Providencia</i> sp	ABPC	●	AMPC/CVA	○	CEZ	●	CCL	○	MINO	●		
<i>Serratia</i> sp	ABPC	●	CEZ	●	CCL	○	CMZ	●	CTM	○		

※ 表の「●」は病体基本セット内の薬剤。「○」は検査可能薬剤を表示しています。

これまで腸内細菌の薬剤感受性結果に付きましては、MIC 値と判定の検査結果をそのまま報告してまいりました。

しかし、検出された腸内細菌の中で、薬剤感受性結果が内因性耐性遺伝子(※2)の影響により感受性結果が「S (感受性)」であっても、菌が持っている内因性耐性により薬剤の治療効果が得られないため、MIC 値の数値にかかわらず薬剤感受性は「耐性」を示す事が判っております。

この事は、CLSI M100-S23 の判定基準に於いても報告されており、当研究所におきましても、腸内細菌科につきましては、MIC 値の数値にかかわらず薬剤感受性は「R (耐性)」と報告させていただきます。

※ 2 : 内因性耐性遺伝子 : 細菌の種類により生まれながらに持っている、薬剤に対し耐性を示す遺伝子のことを言います。それに対し、外界からの刺激により獲得した薬剤耐性を外因性耐性遺伝子と言います。

◆ 血液培養検査での培養陽性時の塗抹結果の報告開始

血液培養検査の塗抹検査のご依頼は受け付けておりませんが、サービス向上の一環として、血液培養検査が「陽性」となった検体におきましては、塗抹鏡検(グラム染色)結果をご報告させていただきます。

※ 尚、細菌顕微鏡検査の実施料点数の算定はできません。

◆ 感染対策情報レポート（週報）陽性者一覧の菌名称の変更

2014年6月23日より、感染対策上重要であるESBL産生菌が検出された場合、感染対策情報レポート(週報)陽性者一覧で「ESBL産生菌」(総称)として報告してまいりましたが、今後は下記の検出された菌名で報告させていただきます。

変更前（総称）	変更後（菌名）
ESBL 産生菌	<i>E.coli</i> (ESBL)
	<i>K. oxytoca</i> (ESBL)
	<i>K. pneumonia</i> (ESBL)
	<i>Enterobacter</i> sp (ESBL)
	<i>P. mirabilis</i> (ESBL)
	<i>P. vulgaris</i> (ESBL)
	<i>Citrobacter</i> sp (ESBL)
	<i>M. morganii</i> (ESBL)
	<i>P. rettgeri</i> (ESBL)
	<i>Providencia</i> sp (ESBL)
	<i>Serratia</i> sp (ESBL)

※ 2015年1月報告分より実施させていただきます。

以上